

デジタルチューナーユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところ

に必ず保管してください。

SPP-TU1

Sony Corporation © 2000 Printed in Japan

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源アダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、電源アダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

万一、異常が起きたら

- 変な音・においがしたら、煙が出たら
- ➡
- ① 電源アダプターをコンセントから抜く。
 - ② 電話回線コードを抜く。
 - ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口

に修理を依頼する(修理時は、本機と親機を両方お持ちください)。

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示



警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源アダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、付属の電源アダプター以外は使用しないでください。



電源アダプターのコードを傷つけない

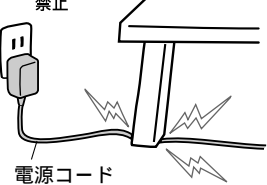
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
 - ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
 - ・熱器具に近づけない。加熱しない。
 - ・電源コードを抜くときは、必ず電源アダプターを持って抜く。
 - ・電源コードを金属などで柱などに固定しない。
- 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口

に交換をご依頼ください。



禁止



電源コード

内部を開けない

故障・感電・火災の原因となります。お客様が本機の分解や改造をすることは法律で禁止されています。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光の当たる場所、熱い場所(暖房器具の近く)、極端に寒い場所、振動の多い場所には置かない

火災や感電の原因となります。



禁止



雷が鳴りだしたら、本機、電話回線コード、電源アダプター、電源コードに触れない

感電の原因となります。



接触禁止



注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**家財に損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源アダプターに触らない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



医療機器の近くで使用する場合は必ず使用許可を得る

本機の発する電磁波が、医療機器に影響を及ぼす場合があります。医療機器の近くで本機をご使用になる場合は、必ず医師に使用許可を得てください。

お手入れの際、電源アダプターを抜く

電源アダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



正しくお使いいただくために

取り扱いについて

- ・本機の内部を改造することは法律で禁じられています。
- ・本機は、親機と本機の間で電波を使って通信します。無線機を使用している場所や放送局の近くなどでは電波障害を受けることがあります。
- ・本機は国内用です。海外ではお使いになれません。

お手入れについて

キャビネットは柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめたもので湿らせた布で拭いたあと、から拭きます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、デジタルチューナーまたはデジタルテレビの通信による利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書と親機の取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルチューナーユニットの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては、修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- ・ 型名：SPP-TU1
- ・ 故障の状態：できるだけ詳しく
- ・ お買い上げ年月日

アフターサービスを依頼されるときは

必ず本機と親機と一緒にお持ちください。両方そろっていないと修理できないことがあります。

お買い上げ店
TEL.
お近くのサービスステーション
TEL.

保証期間中のお取り扱いと技術的なお問い合わせは テクニカルインフォメーションセンターへ	
フリーダイヤル	0 1 2 0 - 5 1 - 7 4 1 1
受付時間	9:00 - 18:00 (土・日・祝祭日を除く)

<http://www.sony.co.jp/>

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	
お問い合わせはお客さま相談センターへ	受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00
●ナビダイヤル……………0570-00-3311 (全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)	
●携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311	
●Fax ……………0466-31-2595	

この説明書は再生紙を使用しています。

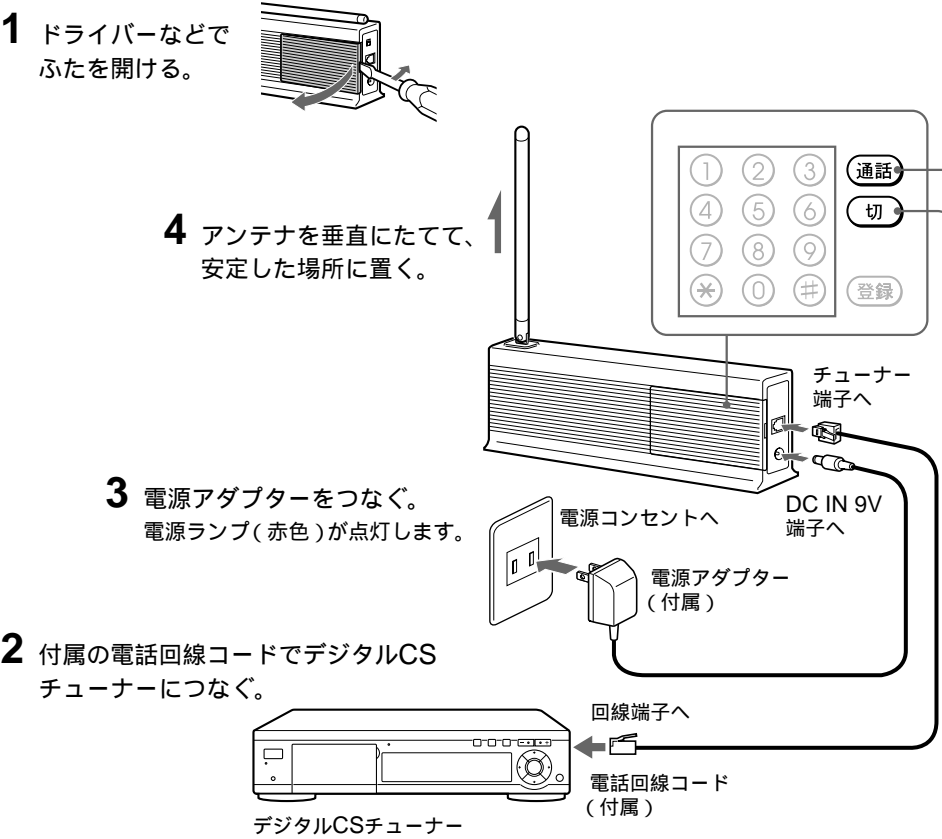
準備

接続できるデジタルチューナーおよびデジタルテレビについて
本機と接続できるのは、発信時に電話回線の発信音を確認する機能を持つ認定機器（ソニー製）*に限りです。他社のチューナーやデジタルテレビと接続しても、お使いになれません。

* デジタルCSチューナー（DST-D900/800JS/700JS/500JSなど）
BSデジタルハイビジョンチューナー（DST-BX100）
デジタルテレビ（デジタルベガシリーズ）

IDコードの登録
デジタルチューナーユニットをお使いになる前にIDコードの登録が必要です。
IDコードの登録はお買い上げ店にご依頼ください。（IDコードの登録設定は有償になります。）

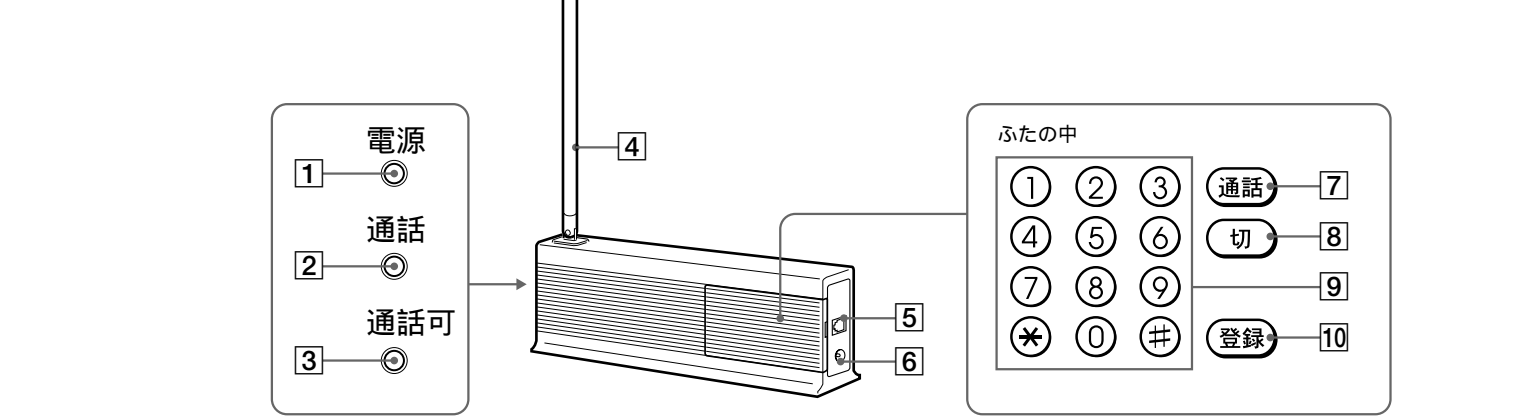
ご持参いただくものは：
SPP-TU1本体、電源アダプター、「販売店の皆様へ」。SPP-C555/ C555PG/T55/T55PG/E777/E777PGの親機と電源アダプターまたは、SNF-5CL/5CLW/V6CLの親機。



- 本機と親機の置き場所について
- 本機は、親機との間で電波を使って交信します。次のような磁気や電気雑音の影響を受ける場所で使用すると、通信が切れることがあります。
 - 妨害電波を発生する恐れがあるものの近く
テレビゲーム機、パソコン、ステレオ、電子レンジ、こたつ、無線機、インバーター式蛍光灯など。
 - 交通の激しい道路の近く
 - テレビ、ラジオの放送局の近く

通信可能範囲について
親機から約30メートルの範囲で使えます。ただし、使用環境（コンクリート壁、金属の扉、金属箔のついた断熱材など）によって通話範囲は変わります。初めてお使いになるときに、使用できる範囲をご確認ください。（「準備」の手順5をご覧ください。）本機が親機から離れすぎていると、通信できないことがあります。

各部の名前



- 1 電源ランプ（赤色）
電源アダプターをつないでいるときに点灯します。
- 2 通話ランプ（緑色）
親機と通信中に点灯します。
- 3 通話可ランプ（オレンジ色）
データの通信が可能になると点灯します。
- 4 アンテナ
- 5 チューナー端子
電話回線コードをつなぎます。

- 6 DC IN 9V端子
電源アダプターをつなぎます。
- 7 通話ボタン*
準備で使います。
- 8 切ボタン*
準備で使います。
- 9 数字ボタン*
使用しません。
- 10 登録ボタン*
ID登録で使います。

* 7～10のボタンは、通常は使用しないのでふたを閉めておいてください。

接続テストとデジタルチューナーまたはデジタルテレビの設定

親機と本機の準備が済んだら、デジタルチューナーまたはデジタルテレビ側で電話回線モードを「10pps」に固定し、接続テストをしてください。デジタルチューナーまたはデジタルテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意
本機をお使いの場合は、接続テストをした後も、ご使用の電話回線の種類に関わらず、デジタルチューナーまたはデジタルテレビ本体は、必ず「10pps」の設定のままにしておいてください。他の設定にすると、本機が動きません。

故障かな？と思ったら

修理に出す前にもう1度お調べください。

症状	原因 / 処置
通信ができない。	<ul style="list-style-type: none">• デジタルチューナーまたはデジタルテレビの「電話回線モード」は「10pps」になっていますか？• 本機と親機をそれぞれ正しくつないでいますか？• 親機のダイヤルモードは正しく設定されていますか？• 本機と親機の間に障害になるものはありませんか？• 本機と親機の距離を縮める。または高い所に置く。• 付属の電話回線コード以外のコードを使っていませんか？